

令和7年度 指定管理者モニタリング票

所管課名	文化スポーツ観光交流部 文化振興課
電話番号	0835(25)2551
所管課名	教育委員会教育部 生涯学習課
電話番号	0835(25)2247

1 施設の概要

施設名称	(1) 防府市公会堂 (2) 防府市地域交流センター（アスピラート） (3) 防府市青少年科学館（ソラール） (4) 防府市視聴覚ライブラリー ※（1）及び（2）は文化振興課、（3）及び（4）は生涯学習課が所管課となる。
設置目的	(1) 防府市公会堂 市民の福祉を増進し、生活文化の向上に資すると共に広く集会の場として使用に供するため、防府市公会堂を設置する。 (2) 防府市地域交流センター 人の交流による駅前の賑わいの創出と、本市の芸術文化の興隆に資するため、防府市地域交流センターを設置する。 (3) 防府市青少年科学館 市民の科学及び科学技術に関する知識の普及及び啓発を図るとともに、創造性豊かな青少年を育成するため、防府市青少年科学館を設置する。 (4) 防府市視聴覚ライブラリー 学校教育及び社会教育における視聴覚教育の振興を図るため、防府市視聴覚ライブラリーを設置する。

2 指定管理者の概要

指定管理者	名称	公益財団法人 防府市文化振興財団
	代表者	会長 上野 清
	所在地	防府市緑町一丁目9番1号
指定期間	第4期 令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年間）	
選定方法	非公募	
(非公募の理由)	防府市文化振興財団の設立目的と施設の設置目的・機能が一致しており、効率的かつ効果的な施設運営ができるため。（指定手続条例第5条1項4号）	
利用料金制の有無	有	

3 指定管理業務の運営状況

業務内容 (具体的に)	(1) 防府市公会堂 ① 防府市公会堂（以下「公会堂」という。）の設置目的の達成に資する事業の実施に関する業務 ② 公会堂の使用許可に関する業務 ③ 公会堂の使用に係る料金に関する業務 ④ 公会堂の施設の維持管理に関する業務 ⑤ その他指定管理者が公会堂の管理上必要と認める業務 (2) 防府市地域交流センター（アスピラート） ① 防府市地域交流センター（以下「交流センター」という。）の設置目的の達成に資する事業の実施に関する業務 ② 交流センターの使用許可に関する業務 ③ 交流センターの使用に係る料金に関する業務 ④ 交流センターの施設の維持管理に関する業務 ⑤ その他指定管理者が交流センターの管理上必要と認める業務 (3) 防府市青少年科学館（ソラール） ① 科学及び科学技術に関する資料及び装置を展示する業務 ② 科学に関する図書、資料等を収集し、保管及び提供する業務 ③ 科学に関する講演会、講座、実習等を開催する業務 ④ 科学及び科学技術に関する資料及び装置の調査研究並びに他の機関との連絡調整を行う業務 ⑤ その他、防府市青少年科学館（以下「科学館」という。）の目的を達成するために必要な事業を行う業務 ⑥ 科学館の利用に係る料金に関する業務 ⑦ 科学館の施設等の維持管理に関する業務 ⑧ その他指定管理者が科学館の管理上必要と認める業務 (4) 防府市視聴覚ライブラリー ① 学校、社会教育施設等に対する視聴覚機材及び教材の貸与に関する業務 ② 視聴覚機材及び教材に関する解説資料等の作成並びに配布に関する業務 ③ 視聴覚機材及び教材に関する指導並びに研修に関する業務 ④ 映写会、展示会等の開催に関する業務 ⑤ 視聴覚教材の製作に関する業務 ⑥ その他、視聴覚教育に関する機関、団体等との連絡、協力に関する業務 ⑦ 防府市視聴覚ライブラリー（以下「視聴覚ライブラリー」という。）の使用許可に関する業務 ⑧ 視聴覚ライブラリーの機材等の維持管理に関する業務 ⑨ その他指定管理者が視聴覚ライブラリーの管理上必要と認める業務						
	(1) 防府市公会堂 館長 1人 副館長 1人 係員 7人（兼任含む） (2) 防府市地域交流センター（アスピラート） 館長 1人 副館長 2人 係員 12人 (3) 防府市青少年科学館（ソラール） 館長 1人 副館長 1人 係員 10人 (4) 防府市視聴覚ライブラリー 館長（科学館館長兼務） 係長（科学館副館長兼務） 係員 1人 合計37人						
	労働基準法等を遵守し、適正に労務管理が行われている。						
	利用状況	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
	①公会堂施設利用率（単位：％）						
		目 標 値	36	36	36	36	36
		実 績 値	34	29	33	29	30
		分 析	隣接する公共施設の解体工事に伴い会館の利用を一部制限したこともあり、利用率、利用人数、利用料金収入とも前年とほぼ横ばいであった。				
	②地域交流センター利用者数（単位：人）						
		目 標 値	107,000	107,000	117,000	107,000	110,000
	実 績 値	58,429	74,098	75,796	82,616	111,152	
	分 析	催事の開催件数が増加したことに伴い全館の利用率が向上し、前年よりも4ポイント向上して74%となった。これに伴って、利用人数は約2万8千人増加し、目標値を達成した。今後も防府市における情報、催事の中心スポットとなるべく集客に努めていく。					

③青少年科学館利用者数（単位：人）					
目 標 値	60,000	60,000	60,000	60,000	60,000
実 績 値	29,752	32,530	48,201	87,290	35,570
分 析	前年度に開催した特別展「ポケモン化石博物館」が61,778人ももの来館者で賑わったこともあり、今年度の来館者数は大幅に減少したが、自然災害の発生メカニズムにも触れた「自然現象のメカニズム展」、日常生活に欠かせない存在である音を題材にした「音のサイエンス展」などの魅力ある企画展を開催して、集客に努めた。				
④視聴覚ライブラリー機材教材貸出日数（単位：日）					
目 標 値	-	-	-	-	-
実 績 値	789	850	333	606	574
分 析	学校でタブレット端末が一人1台配付されたことや、各種オンデマンド放送の普及により小中学校での利用は著しく減少している。今後は市民の方の学習活動を支援できるような教材や機器を揃え、PRに努めていく。				

4 指定管理者の業務に係る収支状況

①指定管理業務に係る収支					
	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
指 定 管 理 料	300,083,461	309,566,875	302,602,787	308,603,412	328,802,373
利 用 料 金	31,595,320	38,935,170	41,004,430	37,545,150	39,470,530
そ の 他	33,237,115	29,385,393	47,211,895	96,789,883	46,848,567
収入計(a)	364,915,896	377,887,438	390,819,112	442,938,445	415,121,470
人 件 費	126,486,705	140,608,826	143,785,119	150,403,796	155,157,571
光 熱 水 費	37,946,359	49,566,465	43,415,234	45,415,757	42,016,545
修 繕 費	5,251,715	4,551,519	5,615,836	6,927,666	6,413,759
そ の 他 (内 訳)	200,950,785	180,823,489	192,112,376	231,862,104	213,827,535
支出計(b)	370,635,564	375,550,299	384,928,565	434,609,323	417,415,410
収支(a-b)	-5,719,668	2,337,139	5,890,547	8,329,122	-2,293,940
分 析	収入については、公会堂及び地域交流センターの利用率並びに利用料金が前年度よりも増加した。支出については、最低賃金の上昇、施設・設備の老朽化に伴う修繕、物価上昇などにより、人件費、修繕費などが増加した。				

②自主事業に係る収支					
	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
収入計(c)	3,305,260	8,337,511	0	1,376,289	2,136,930
支出計(d)	4,543,193	12,376,403	0	2,344,107	2,328,058
収支(c-d)	-1,237,933	-4,038,892	0	-967,818	-191,128
主な内容	「伊沢拓司講演会「楽しい」から始まる学び」を自己財源によって低価格で提供し、市民に楽しんでもらうことができた。				

5 利用者満足度

調査概要	実施方法	アンケートボックスを設置。施設利用者には利用時にアンケートを配布。
	時期	令和7年4月1日～令和8年3月31日
	回収率	・公会堂（回答数：14件/39件中 回答率36%） ・地域交流センター（回答数：34件/75件中 回答率45%） ・青少年科学館（回答数：75件）
	満足度の割合	＜主な結果＞ ・公会堂 ○利用料金：相当100% ○施設の使いやすさ：使いやすい64% ○職員の対応：良い100% ・地域交流センター ○利用料金：安い9%、相当88% ○施設の使いやすさ：使いやすい82% ○職員の対応：良い94% ・青少年科学館 ○企画・特別展の感想：満足94.7% ○職員の対応：満足94.7%
	対応状況	お客様からの意見・要望は、各館の職員間並びに他館職員においても共有し改善に努めた。

6 評価

指定管理者による自己評価	多彩な活動を通じて、気軽に文化芸術に触れることができる環境づくりに取り組み、音楽・美術鑑賞事業、科学事業ともに予想を超える来場者があった。利用者アンケートにおいて、利用者の満足度は高い水準を維持しており、対応・接遇等についても市民からの評価は高い。各施設ともに利用者目線に立った管理運営を行うとともに、防府市における文化活動の一層の活性化を図り、市民のニーズに応える事業を展開したと自己評価する。 地域交流センター並びに青少年科学館は、開館から28年を経過し、建物・設備共に著しく老朽化が進んでいるが、危険箇所の把握に努め、不具合箇所は速やかに小修繕を実施するなど、安全で快適な環境維持に努めている。大規模な修繕や機器の更新については、防府市と情報を共有しながら、今後お客様の安全と安心を第一に、適切な管理・運営に取り組みたい。
市の評価	【施設の利用状況について】アトラクションについては来館人数は前年度比、前々年度比で大幅な減少となった。これは令和5年度の「食品サンプル展」、令和6年度の「ポケモン化石博物館」が非常に好評を博し、例年を大きく上回る集客を記録したことによる反動が主な原因である。それ以前の過年度水準と比較すれば同程度の集客は維持できしており、基礎的な集客力が落ち込んでいるわけではない。アスビラートについては催事の開催件数が増加したことに伴い、利用者数も前年度を上回る推移を見せており、施設が有効に利用されている。収支状況については、公会堂、アスビラートの利用率の上昇に伴い、収入が増加。支出面においては、昨今の人件費の最低賃金の上昇や施設・設備の修繕費等の嵩みが要因となり増加傾向にあるものの、総合的な収支はプラスとなっている。令和8年度も適切なコスト削減等の対策を講じつつ、引き続き安定的な事業展開を期待する。 【施設管理について】利用者アンケート結果からも分かるように利便性の向上、親切的な窓口対応に努め、適切に維持管理されていることを評価する。労働環境については、労働関係法令を遵守しており、従事者が働きやすい環境作りに積極的に取り組んでいることを評価する。